

鹿児島県光触媒施工協会  
設立10周年記念講演会

# 「光触媒の 原理と可能性」

平成30年

10/9(火)

15:00~17:00

(受付14:30)

会場/南日本新聞会館  
みなみホール

参加無料 定員:300名

\*先着順、定員に達し次第終了いたします。

## 【講演概要】

酸化チタンに光をあてると水が分解されて酸素と水素が発生することを見出して50年になります。また、超親水性効果を発見することもできました。現在では、建物を常にキレイに保つ事のできるセルフクリーニング効果や、空気をキレイにしたり、ウイルスの除菌や悪臭対策などにも広く利用されています。本日は光触媒の原理とこれからの光触媒の可能性についてお話しします。

## 【研究紹介】

藤嶋先生は1967年に酸化チタンに紫外線を当てることにより水電解に必要な電圧が下がることを発見し、光触媒や光電気化学の分野を開拓された功績により文化勲章を受章されました。光触媒の応用は、汚れを分解するガラスや建築材料、汚れず、水滴ができない超親水性のガラスのコーティング等へ広がっています。先生は企業との共同研究や標準化などで応用分野の開拓にも貢献されました。また、藤嶋先生は講演や著作で、「空はなぜ青いの?」「雲はなぜ白いの?」「虹は何色あるの?」「橋の入口と出口の違いは?」...などの生活に身近な疑問や不思議を取り上げ、小さな発見や感動が研究や新たな発見につながっていることを中高生や若い研究者にむけて発信されていることでも有名です。



講師 東京理科大学 名誉教授

藤嶋 昭氏

1966年横浜国立大学工学部卒業。1971年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。水中で酸化チタン電極に光を当てると水の電気分解が起こることを見出し、本多-藤嶋効果と呼ばれる新しい現象を発見した。この研究はその後大きく発展し、現在世界中から注目されている「光触媒」を完成させた。ノーベル化学賞の有力候補としても知られており、様々なメディアにも多数出演。2017年文化勲章受章。

【お問い合わせ先】 鹿児島県光触媒施工協会

事務局:株式会社鹿児島イーデン電気 内 TEL0994-44-6396 講演会担当:川崎